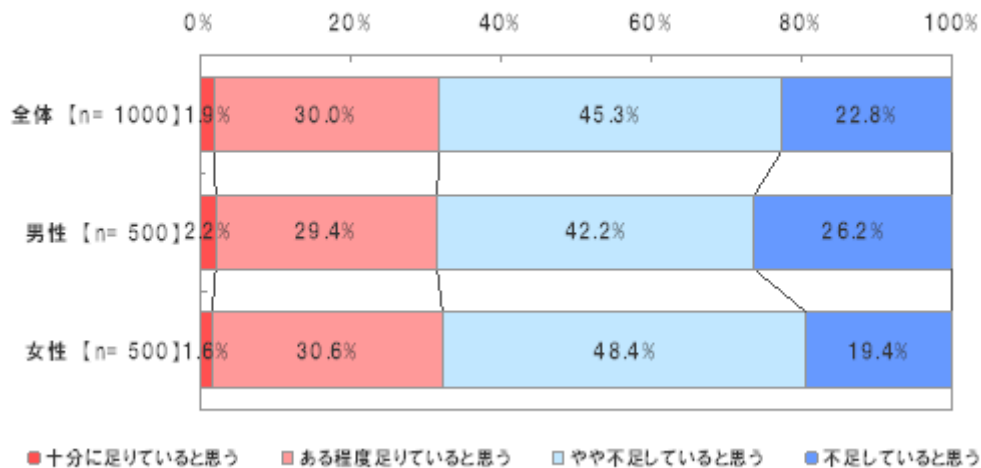


別紙(2)『ネット生保に関する調査』(2009年4月実施) - 抜粋
約7割の方が、生命保険の比較情報量の不足を感じている

ライフネット生命とSBIアクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 木村真輔)が2009年4月に実施した「ネット生保に関する共同調査」において、20代~50代の男女1000名に対し、現在の日本での生命保険の比較情報量についてどのように感じているのかを単一回答形式で聞いたところ、『足りていると思う』(「十分に足りていると思う」1.9%、「ある程度足りていると思う」30.0%の合計)と回答したのは31.9%となりました。一方『不足していると思う』(「不足していると思う」22.8%、「やや不足していると思う」45.3%の合計)と回答したのは68.1%という結果となり『不足していると思う』が『足りていると思う』の数値を36.2ポイントと大きく上回る結果となりました。

現在日本での生命保険の比較情報の量についてどのようにお感じですか？
(単一回答形式)


調査概要:

調査対象	ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする 20代~50代の男女1,000名を対象
調査期間	2009年4月10日~4月14日
調査方法	モバイルリサーチ
調査地域	全国
有効回答数	1,000サンプル
実施機関	ネットエイジア株式会社

本調査の詳細については、ライフネット生命の2009年4月23日付ニュースリリース『~業界初、「ネット生保に関する共同調査」~』をご参照ください。

(URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/newsrelease/2009/1683.html>)

以上